

令和6年度 決算説明資料

決算に係る資料

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 主な整備箇所等一覧 | 1 頁 |
| 2. 令和7年度への繰越箇所一覧 | 7 頁 |
| 3. 下水道事業の財政状況（図解） | 13 頁 |
| 4. 経営指標等の推移 | 15 頁 |
| 5. 補助金の支出状況 | 21 頁 |

道路下水道局

1. 主な整備箇所等一覧

(1) 道路整備

(決算説明資料 5P関連)

区 分	公 共 事 業	
	決 算 額	主 な 箇 所 等
幹線道路整備	2,828,796	《道路橋りょう整備》 香椎4800号線（香椎） 学園通線（田尻） 千代今宿線（興徳寺橋） 《都市計画道路整備》 長尾橋本線（茶山） 野間屋形原線（花畑） 国道3号線（東那珂）
生活道路等整備	386,784	《道路橋りょう整備》 志賀島和白（大字西戸崎） 橋本駅前広場 店屋町318号線（冷泉町）
交通安全施設整備	2,286,912	《交通安全施設整備》 桧原比恵線（平尾） 地行鳥飼七隈線（鳥飼） 大橋駅前1号線（塩原）
連続立体交差事業	1,284,933	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）
直轄工事費負担金	—	
道路施設のアセットマネジメント	1,032,478	《道路橋りょう整備》 橋梁アセット 生活道路アセット 幹線道路アセット
その他	—	
合計	7,819,903	

(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
決 算 額	主 な 箇 所 等	
700,133	《道路橋りょう整備》 香椎4800号線（香椎） 千代今宿線（興徳寺橋） 学園通線（田尻） 《都市計画道路整備》 国道3号線（半道橋） 長尾橋本線（茶山） 天神通線（北側）	3,528,929
2,882,918	《道路橋りょう整備》 多賀3079号線 梅林1927号線 入部中原停車場線（大字椎原）	3,269,702
2,919,972	《交通安全施設整備》 竹下2118号線（平和町1号踏切） 国道263号（飯倉） 清水干隈線（七隈）	5,206,885
59,098	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）	1,344,031
639,910	国道3号 外	639,910
2,894,821	《道路橋りょう整備》 生活道路アセット 大規模施設アセット 橋梁アセット	3,927,299
2,375,268	対象外給与費・福岡北九州高速道路公社貸付金・出資金等	2,375,268
12,472,120		20,292,023

(2) 河川整備

(決算説明資料 6P関連)

区 分	公 共 事 業			
	決 算 額	主 な 箇 所 等		
治 水 対 策	618,655	周船寺川 源蔵池	水崎川 五ヶ村池	金脣川 道手池 博多川
局 地 的 豪 雨 策 対	—			
環 境 整 備	—			
河 川 施 設 の ア セ ッ ト マ ネ ジ メ ン ト	144,860	吉塚新川	上牟田川	綿打川 水崎川
そ の 他	—			
合 計	763,515			

(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
決 算 額	主 な 箇 所 等	
1,604,459	香椎川 不動ヶ浦池	2,223,114
11,335	大谷川	11,335
120,197	弁天川	120,197
978,101	那珂古川 一本松川 唐の原川 田尻川 野間大池 永浦池	1,122,961
192,423	対象外給与費	192,423
2,906,515		3,670,030

(3) 下水道整備

(決算説明資料 7P関連)

区 分	公 共 事 業	
	決 算 額	主 な 箇 所 等
下水道施設のアセット マネジメント (改 築 更 新)	4,847,896	アイランドシティポンプ場、坂本町ポンプ場、鳥飼ポンプ場、 今宿ポンプ場、 和白・中部・西部水処理センター
浸 水 対 策	2,472,071	中部6号幹線、中部8号幹線、中部9号幹線、中部12号幹線、 中部15号幹線、金隈地区雨水管、西田隈第3雨水幹線
地 震 対 策	2,237,558	筥松第2雨水幹線、月隈第8雨水幹線、塩原老司雨水幹線、 西戸崎・和白水処理センター
未整備区域の解消	702,993	香椎照葉七丁目、 新西部水処理センター
合流式下水道の改善	-	
再 生 水 利 用	151,762	箱崎六丁目
合 計	10,412,280	

(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
決 算 額	主 な 箇 所 等	
9,230,524	多の津一丁目、山王二丁目、薬院二丁目、柳瀬二丁目、 別府五丁目、室見五丁目、豊浜一丁目、 アイランドシティポンプ場、坂本町ポンプ場、今宿ポンプ場、 和白・東部・中部・西部水処理センター	14,078,420
1,824,377	井相田三丁目、中洲二丁目、市崎一丁目、姪の浜駅南二丁目、福重四丁目	4,296,448
239,029	筈松第2雨水幹線、月隈第8雨水幹線、塩原老司雨水幹線、 西戸崎水処理センター	2,476,588
2,027,224	香椎照葉七丁目、 新西部水処理センター	2,730,217
236,177	美野島一丁目、天神一丁目	236,177
6,761	天神一丁目	158,523
13,564,092		23,976,372

2. 令和7年度への繰越箇所一覧

(1) 道路整備

(決算説明資料 5P関連)

区 分	公 共 事 業	
	繰 越 額	主 な 箇 所 等
幹線道路整備	1,252,763	《道路橋りょう整備》 香椎4800号線（香椎） 《都市計画道路整備》 長尾橋本線（茶山） 粕屋久山線（土井） 国道3号線（半道橋）
生活道路等整備	347,701	《道路橋りょう整備》 志賀島和白（大字西戸崎） 店屋町318号線（冷泉町） 舞鶴薬院線（城東橋交差点）
交通安全施設整備	2,012,208	《交通安全施設整備》 橋本駅自転車駐車場 浜新建堅粕線（箱崎） 筥松線
連続立体交差事業	680,000	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）
道路施設のアセットマネジメント	569,613	《道路橋りょう整備》 橋梁アセット 橋梁耐震化 大規模施設アセット
そ の 他	—	
合 計	4,862,285	

(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
繰 越 額	主 な 箇 所 等	
331,386	《道路橋りょう整備》 千代今宿線（興徳寺橋） 香椎4800号線（香椎） 《都市計画道路整備》 国道3号線（板付） 粕屋久山線（土井） 天神通線（南側）	1,584,150
1,425,216	《道路橋りょう整備》 志賀島和白（大字西戸崎） 千代今宿線（今宿青木） 柏原1931号線	1,772,917
2,137,712	《交通安全施設整備》 後野福岡線（花畑） 福岡筑紫野線（大橋） 和白丘2847号線	4,149,920
20,128	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）	700,128
983,345	《道路橋りょう整備》 橋梁耐震化 大規模施設アセット 橋梁アセット	1,552,958
790,000	《都市計画道路整備》 福岡北九州高速道路公社貸付金・出資金	790,000
5,687,788		10,550,073

(2) 河川整備

(決算説明資料 6P関連)

区 分	公 共 事 業	
	繰 越 額	主 な 箇 所 等
治 水 対 策	278,959	周船寺川 金屑川 若久川 博多川 源蔵池
局 地 的 豪 雨 策 対	—	
環 境 整 備	—	
河 川 施 設 の ア セ ッ ト マ ネ ジ メ ン ト	1,754	吉塚新川
そ の 他	—	
合 計	280,713	

(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
繰 越 額	主 な 箇 所 等	
1,399,541	香椎川 不動ヶ浦池	1,678,500
13,744	大谷川	13,744
244,017	弁天川	244,017
411,873	一本松川 那珂古川 七隈川	413,627
—		—
2,069,175		2,349,888

(3) 下水道整備

(決算説明資料 7P関連)

区 分	公 共 事 業	
	繰 越 額	主 な 箇 所 等
下水道施設の アセット マネジメント (改 築 更 新)	5,729,117	月隈ポンプ場、梅光園ポンプ場、 和白・東部・中部・西部水処理センター
浸 水 対 策	2,161,045	中部6号幹線、中部8号幹線、中部12号幹線、 中部15号幹線、金隈地区雨水管、西田隈第3雨水幹線
地 震 対 策	2,251,825	筥松第1汚水幹線、姪の浜ポンプ場
未整備区域の解消	85,776	みなと香椎四丁目
合流式下水道の改善	-	
再 生 水 利 用	192,388	中部水処理センター
合 計	10,420,151	

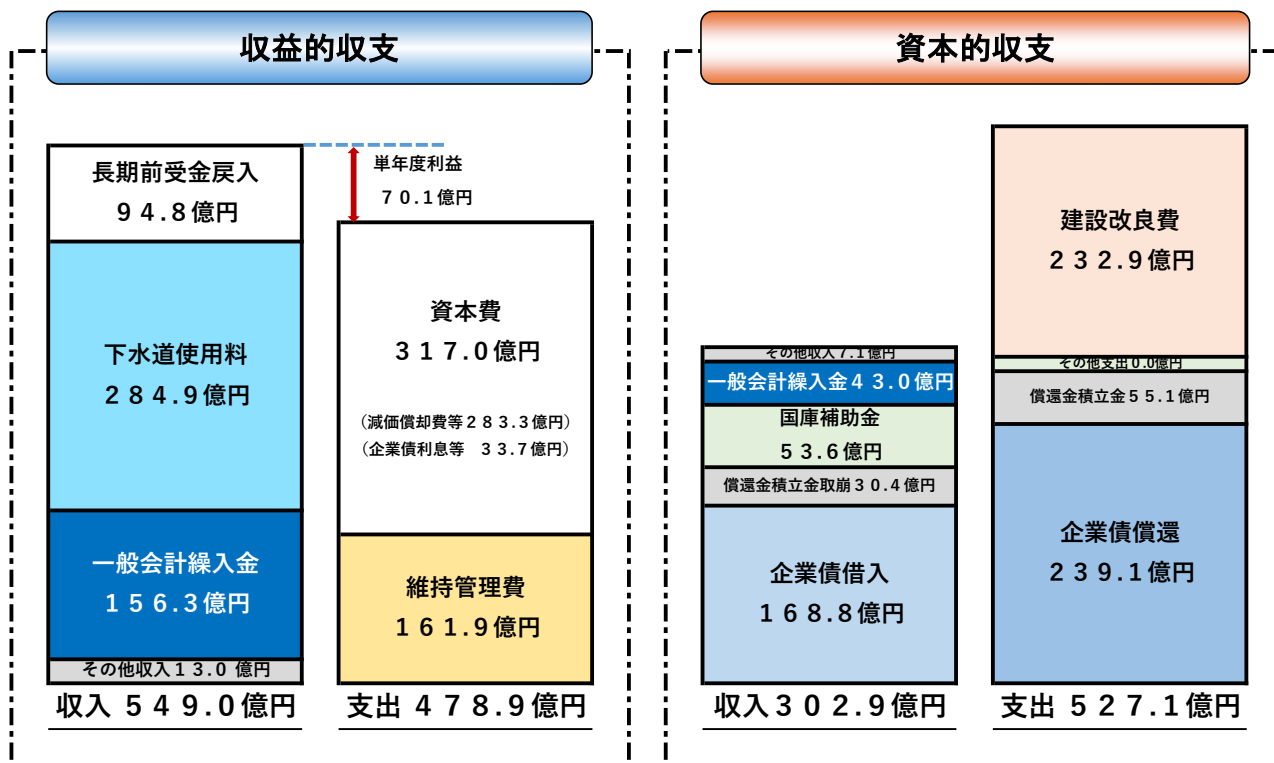
(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
繰 越 額	主 な 箇 所 等	
4,443,095	箱崎ふ頭五丁目、千代三丁目、荒津一丁目、 柏原三丁目、田島一丁目、小田部四丁目、豊浜一丁目、 梅光園ポンプ場、 和白・東部・中部・西部水処理センター	10,172,212
682,794	松田三丁目、上川端町、大楠三丁目	2,843,839
106,040	筥松第1污水幹線	2,357,865
806,680	みなと香椎四丁目、今宿青木	892,456
21,001	天神一丁目	21,001
195,238	舞鶴二丁目	387,626
6,254,849		16,675,000

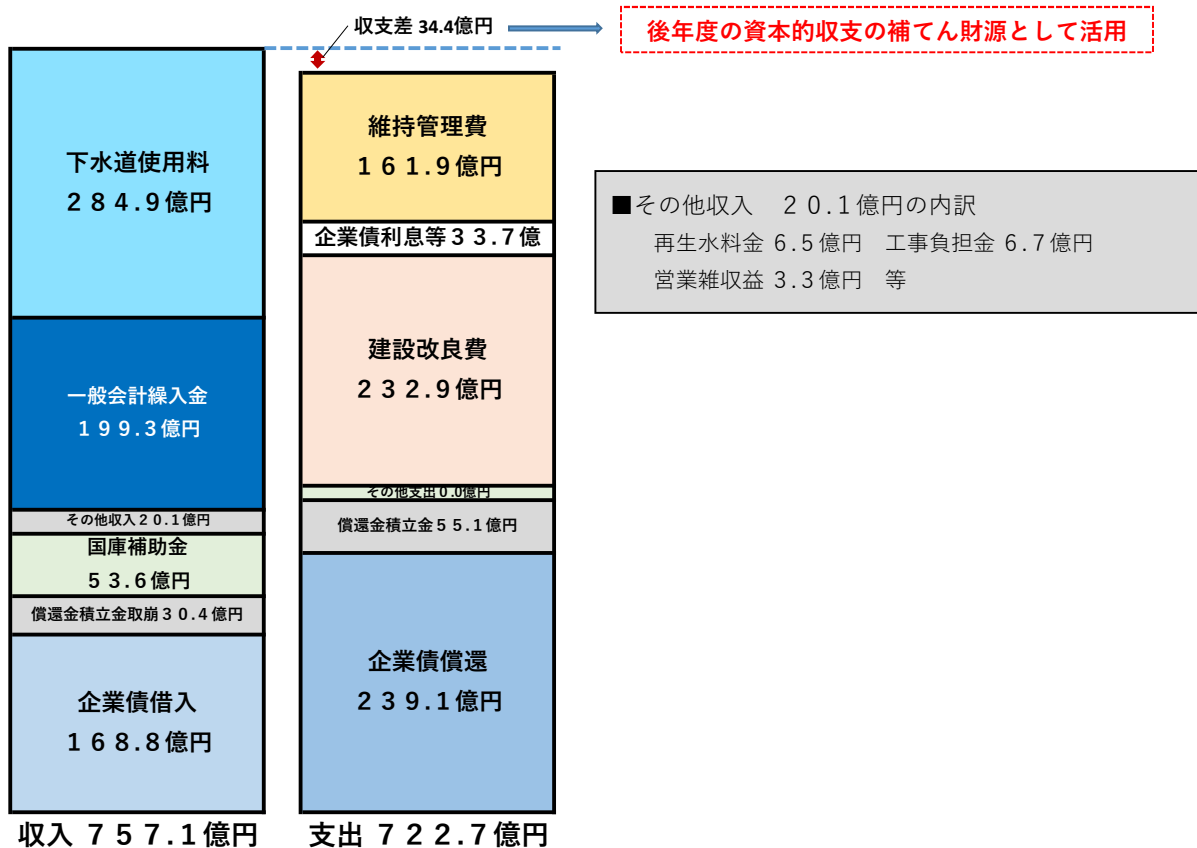
3. 下水道事業の財政状況（図解）

（金額は消費税抜）

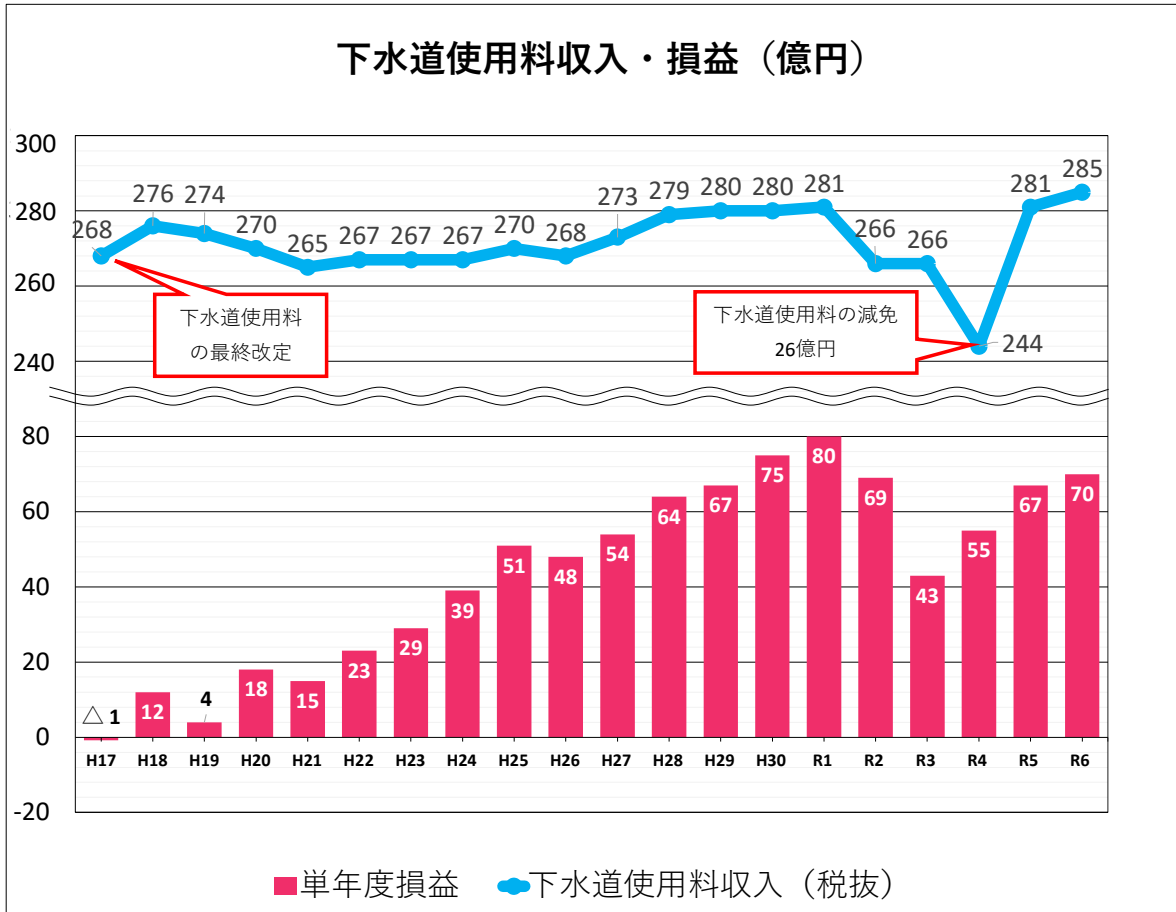
【決算ベースの収支】



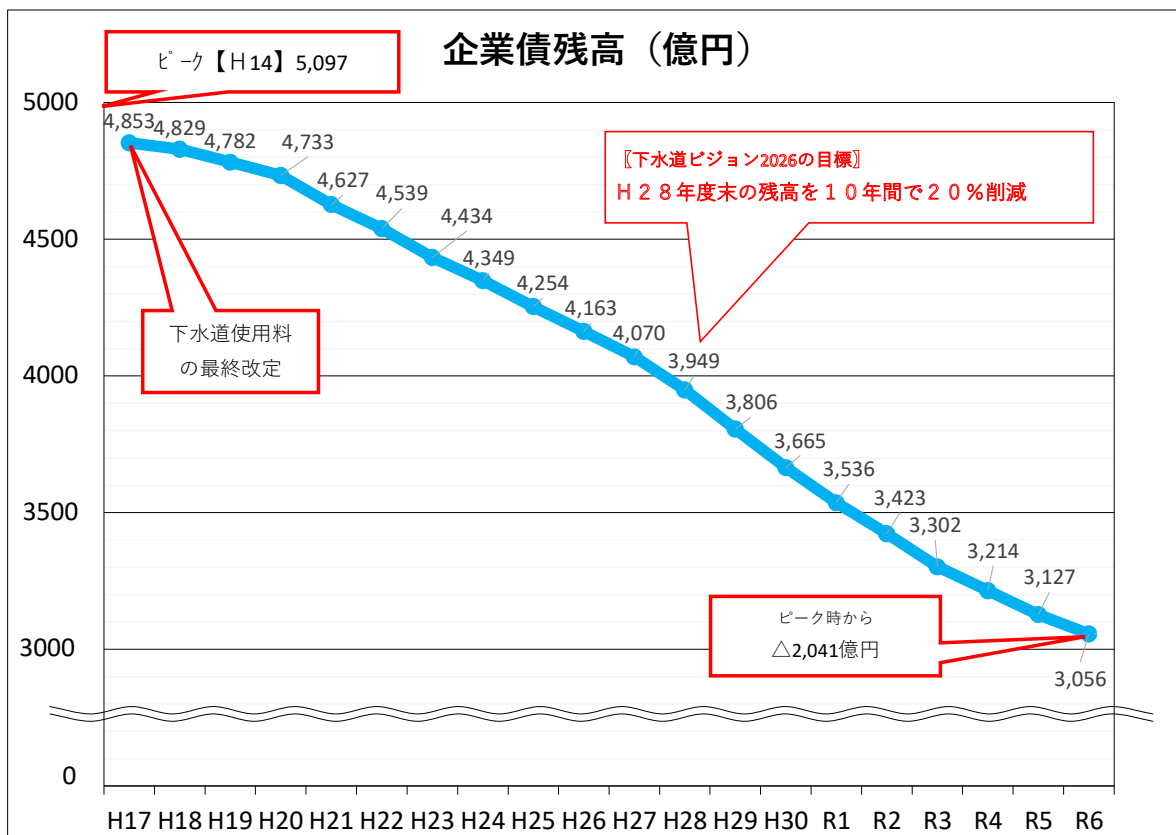
【資金収支（一般会計と同様の現金会計ベース）】 = 収益的収支 + 資本的収支 - 非現金収支（長期前受金戻入、減価償却費等）



【下水道使用料収入及び損益の推移】



【企業債残高の推移】



4. 経営指標等の推移(令和2～6年度)

(1) 施設指標

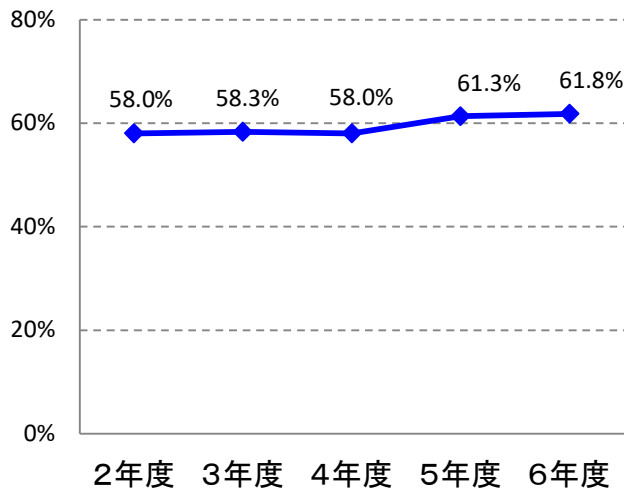
※ 計算式の数値については、総務省提出「地方公営企業決算状況調査」の数値
他大都市とは、福岡市を除く政令指定都市19都市及び東京都

施設利用率

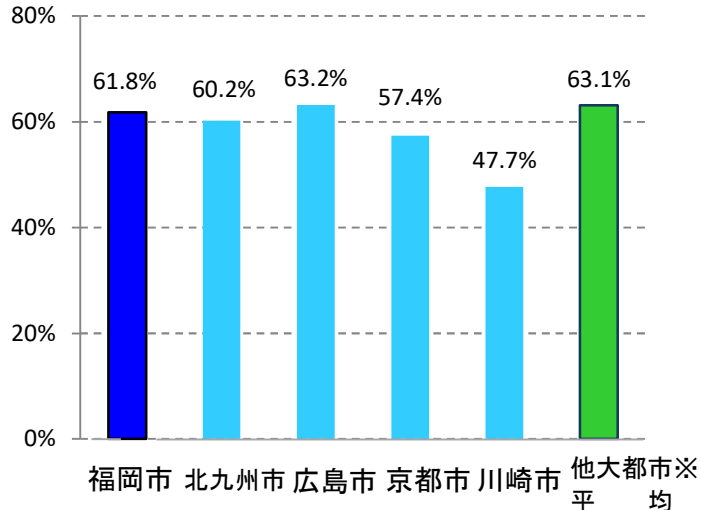
下水処理場における平均的な稼働状況を示す指標です。

$$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{処理能力(前年度末)}} \times 100$$

施設利用率の推移



令和6年度大都市の施設利用率



(評価)

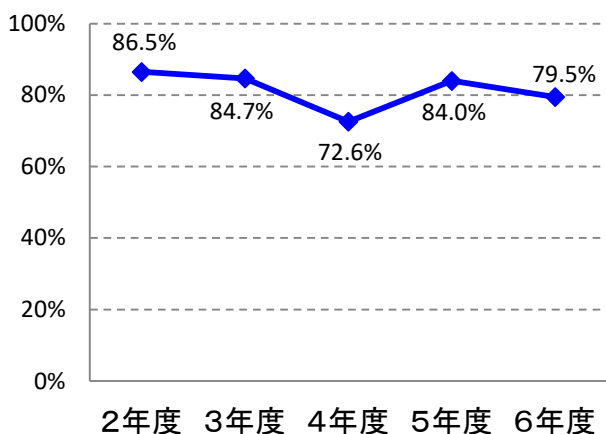
- ・当指標は、施設の利用状況や適正規模を判断するものであり、数値が高いほど、効率的な施設利用ができていていることを示しています。
- ・他大都市平均とほぼ同水準にあり、近年6割程度で推移しています。

最大稼働率

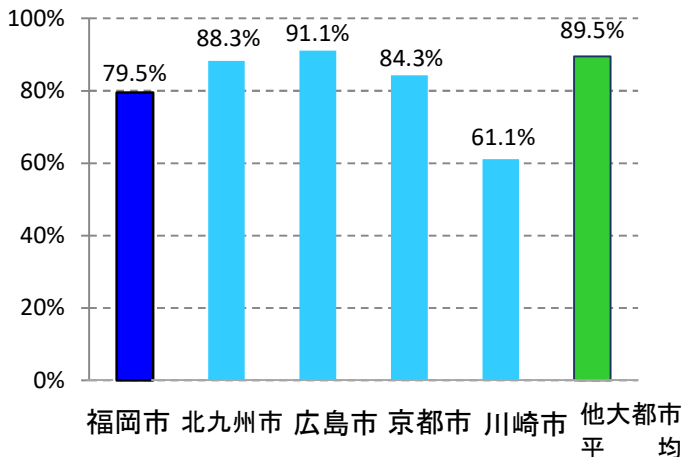
下水処理場において最も処理水量が多かった日の稼働状況を示す指標です。

$$\frac{\text{晴天時一日最大処理水量}}{\text{処理能力(前年度末)}} \times 100$$

最大稼働率の推移



令和6年度大都市の最大稼働率



(評価)

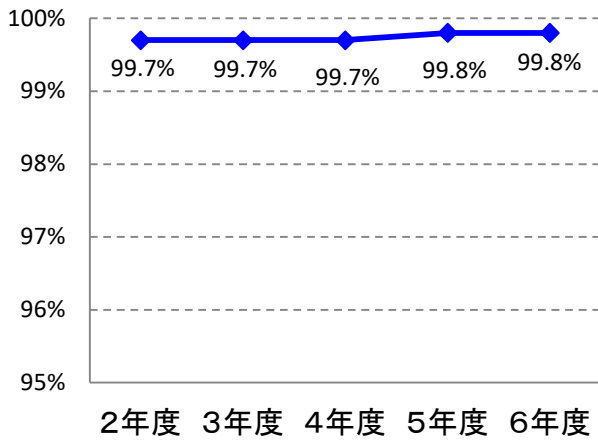
- ・当指標は、施設の処理能力に対して、最も処理水量が多かった日の稼働状況を示しており、令和6年度は、昨年度に比べて減少しています。
- ・他大都市平均と比べると低く、施設にやや余裕があります。

水洗化率

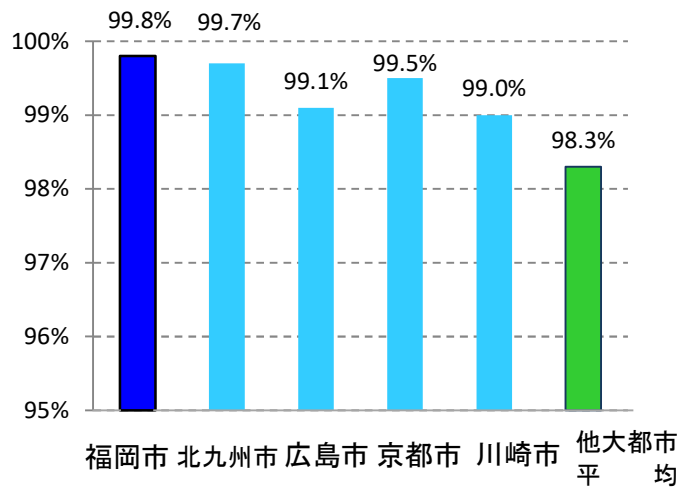
下水処理区域内において水洗トイレを利用している人口の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{水洗便所設置済人口}}{\text{処理区域内人口}} \times 100$$

水洗化率の推移



令和6年度大都市の水洗化率



(評価)

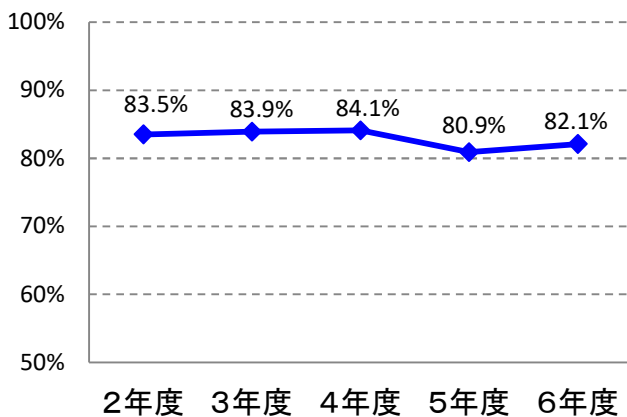
- ・当指標は、99%を超えており、ほぼ全ての人が水洗トイレを利用しています。
- ・他大都市平均と比べると高くなっています。

有収率

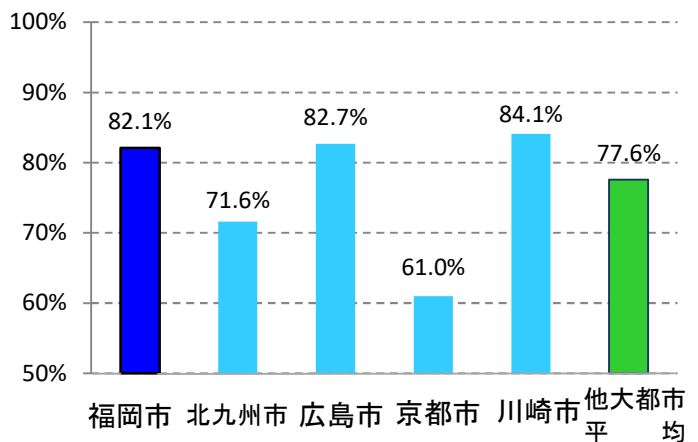
処理場で処理した水量のうち使用料徴収の対象となる水量の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総汚水処理水量}} \times 100$$

有収率の推移



令和6年度大都市の有収率



(評価)

- ・当指標は、高いほど使用料徴収の対象となっていない不明水が少なく、効率的な汚水処理が行われていることを示しています。
- ・近年は、8割程度で推移し、他大都市平均と比べると上回っており、良好な状況です。

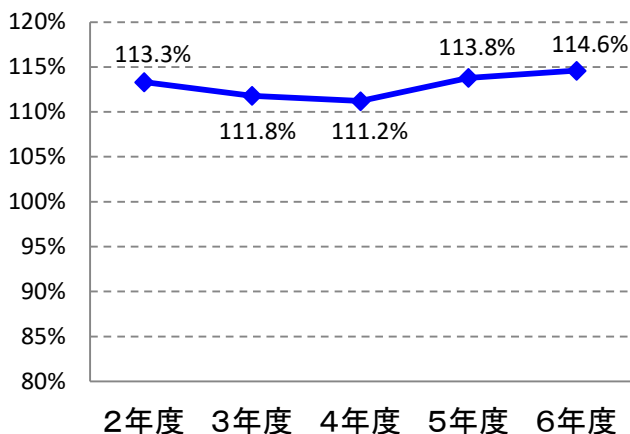
(2)財務指標

経常収支比率

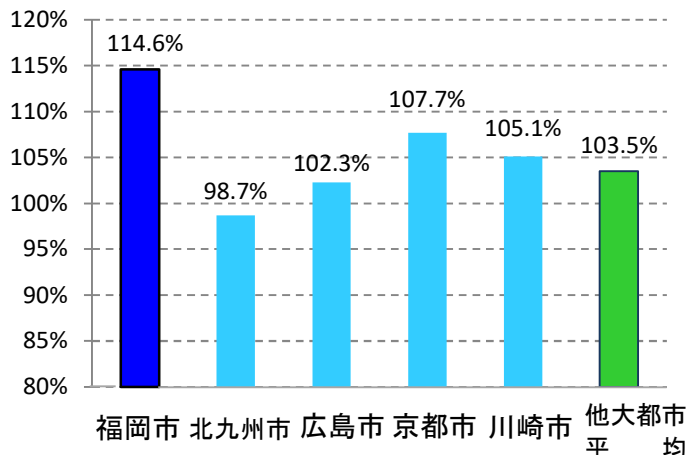
下水道事業における収支のバランスを比較し、経営の安定性を示す指標です。

$$\frac{\text{経常収益 (営業収益+営業外収益)}}{\text{経常費用 (営業費用+営業外費用)}} \times 100$$

経常収支比率の推移



令和6年度大都市の経常収支比率



(評価)

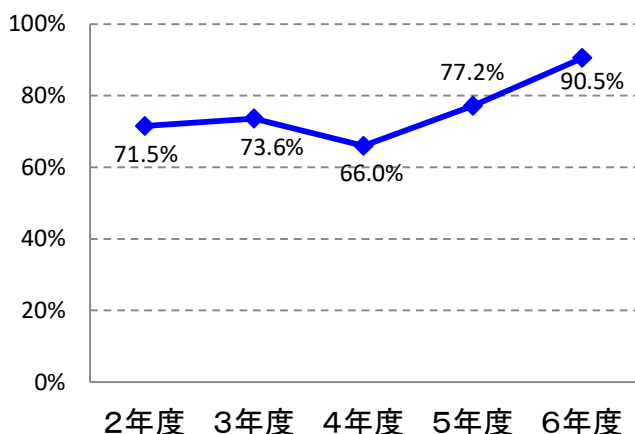
- ・当指標は、100%以上であれば単年度の収支が黒字であることを示しています。
- ・近年、100%以上で推移しており、他大都市平均と比べて上回っており、経営は安定しています。

流動比率

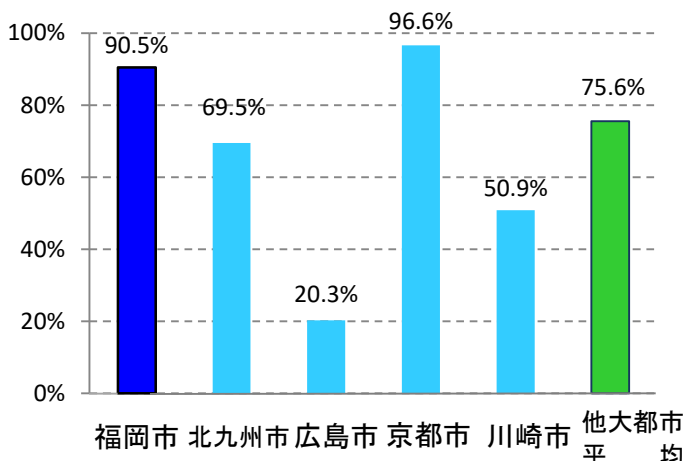
1年以内に現金化できる資産と負債とを比較し、短期的な支払い能力の高さを示す指標です。

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

流動比率の推移



令和6年度大都市の流動比率



(評価)

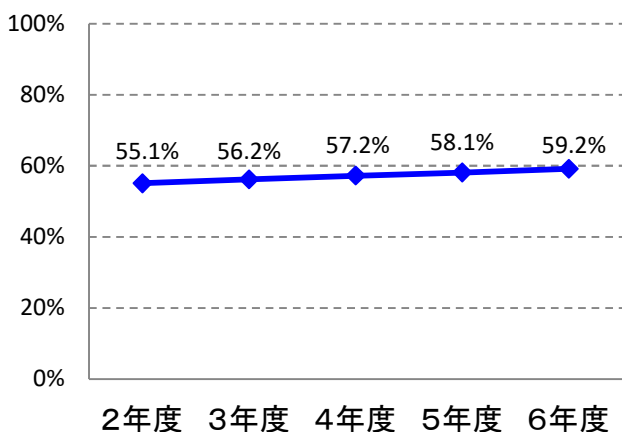
- ・当指標は、民間企業では、100%超が適正とされています。しかしながら、公営企業では地方公共団体の信用力を背景として、当該年度に発生する損益勘定留保資金等を当該年度の企業債の償還財源として使用するため、流動負債として計上される次年度の企業債の償還財源を決算時に保有していない傾向にあります。
- ・令和6年度は、他大都市平均と比べると上回っています。

自己資本構成比率

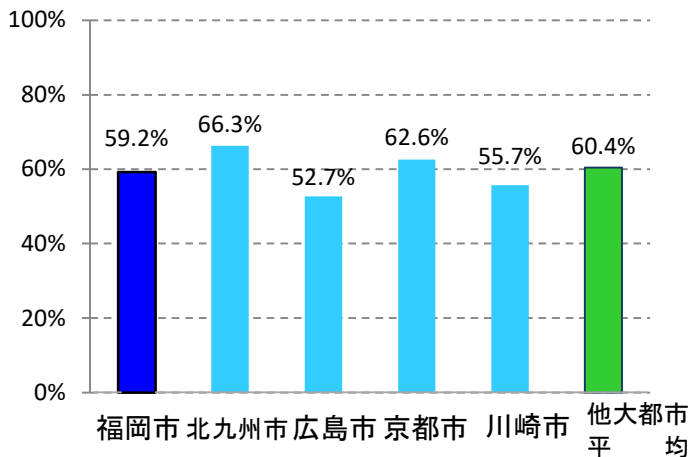
総資本に対する自己資本の占める割合を表しており、企業の安定度を示す指標です。

$$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$$

自己資本構成比率の推移



令和6年度大都市の自己資本構成比率



(評価)

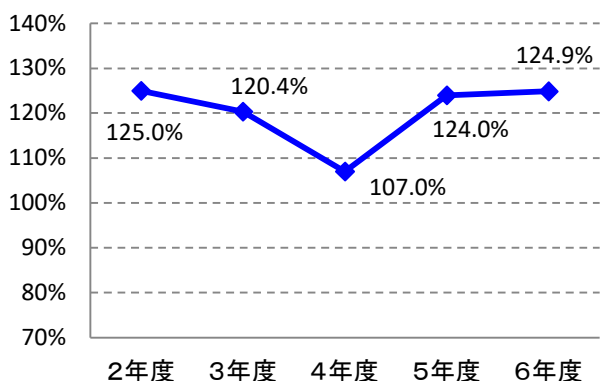
- ・当指標は、総資本を自己資本により構築している割合を示しており、高いほど借金に頼らずに経営が行われていることを表しています。近年は、利益剰余金を財源として企業債の発行を抑制していることなどから、負債が減少し当指標は増加傾向にあります。
- ・他大都市平均と比べるとやや下回っており、今後とも自己資本構成比率を高めていく必要があります。

経費回収率

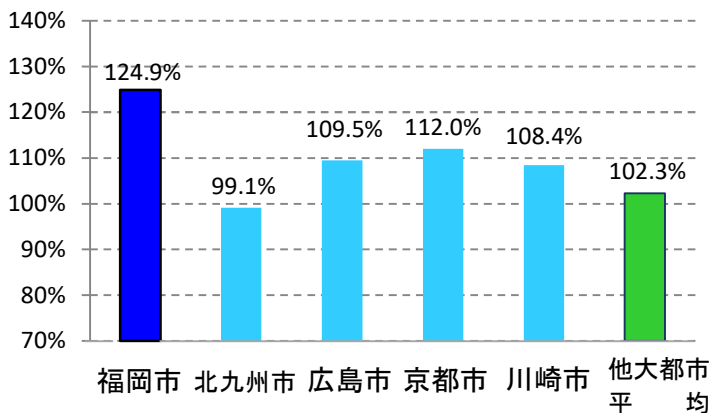
下水道使用料で回収すべき経費を、どの程度下水道使用料で賄えているかを示す指標です。

$$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$$

経費回収率の推移



令和6年度大都市の経費回収率



(評価)

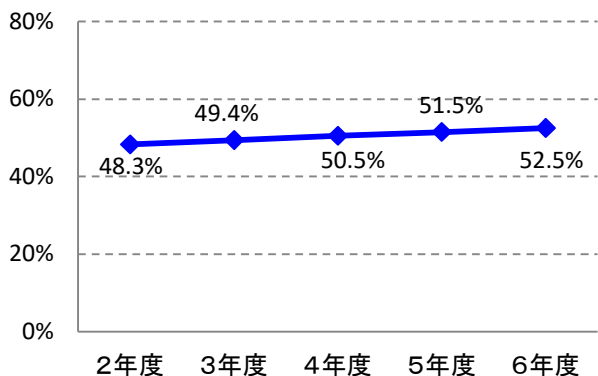
- ・当指標は、100%以上であれば、下水道使用料で回収すべき経費をすべて下水道使用料によって賄えていることを示しています。
- ・他大都市平均と比べると高くなっており、確保した利益については企業債発行の抑制等を行っています。

**有形固定資産
減価償却率**

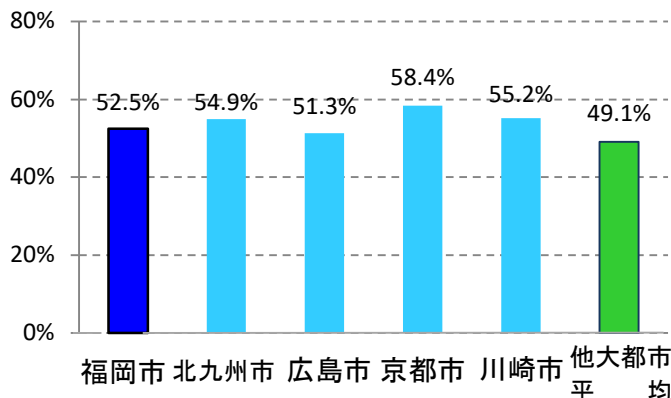
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標です。

$$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$$

有形固定資産減価償却率の推移



令和6年度大都市の有形固定資産減価償却率



(評価)

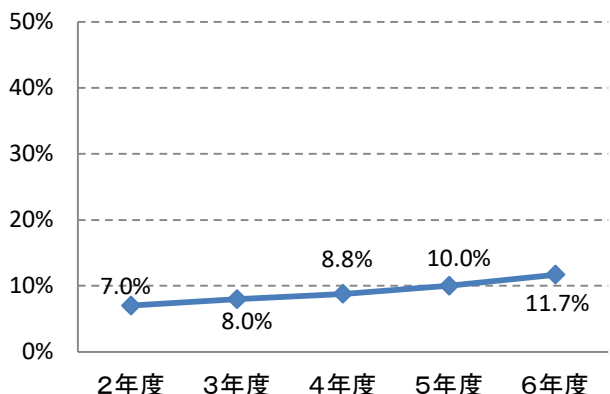
- ・当指標は、数値が高いほど法定耐用年数に近い資産が多いことを示していて、将来の施設の改築等の必要性を推測することができます。
- ・福岡市においては、有形固定資産減価償却率は、類似大都市とほぼ同水準となっていますが、その比率は年々上昇していることから、今後とも計画的かつ効率的な改築更新を実施する必要があります。

管渠老朽化率

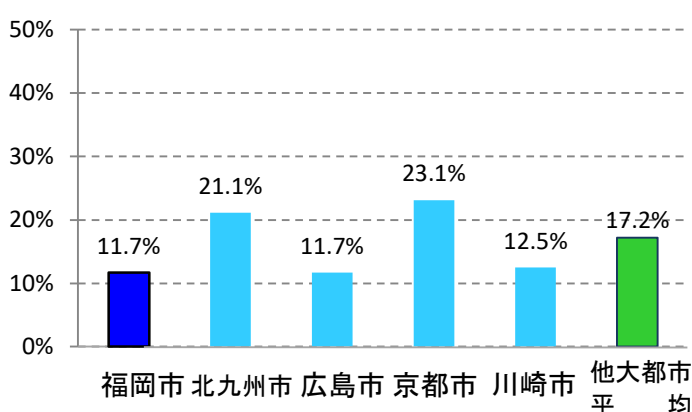
法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$$

管渠老朽化率の推移



令和6年度大都市の管渠老朽化率



(評価)

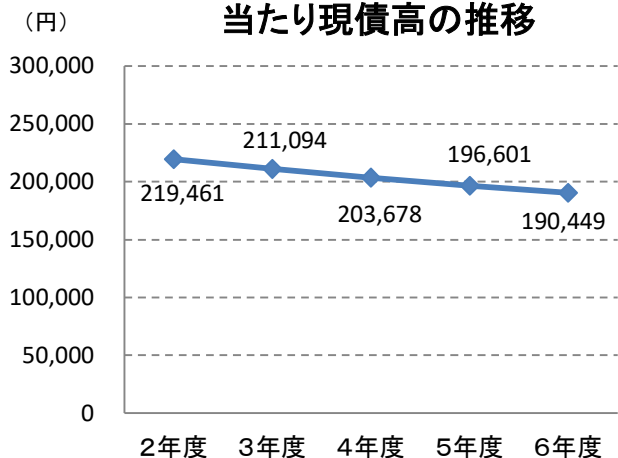
- ・当指標は、数値が高いほど法定耐用年数を経過した管渠を多く保有していることを示していて、管渠の改築等の必要性を推測することができます。
- ・福岡市においては、管渠老朽化率は、他大都市平均と比較すると低くなっていますが、その比率は年々上昇していることから、今後とも計画的かつ効率的な改築更新を実施する必要があります。

処理区域内人口
一人当たり現債高

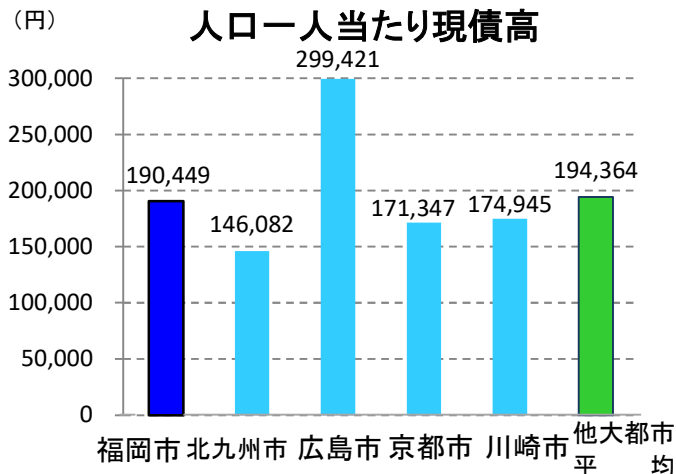
下水処理区域内人口一人当たりの企業債(借入金)残高を示しています。

企業債現在高
処理区域内人口

処理区域内人口一人 当たり現債高の推移



令和6年度大都市の処理区域内 人口一人当たり現債高



(評価)

・福岡市においては、近年、利益剰余金を財源として企業債の発行を抑制していることなどから、企業債の残高は減少しており、処理区域内人口一人当たり現債高は他大都市平均より少なくなっています。しかしながら、将来の元金償還や利息負担を軽減するため、今後とも企業債残高の縮減に努める必要があります。

(3)全体総括

福岡市の下水道整備は、建設費が高騰したオイルショック後の昭和50年代から本格化したため、建設費を賄う企業債が増加したこと等により、赤字を計上していましたが、資産の有効活用や資金の効果的運用等による収入の確保、維持管理の効率化等を実施し、平成18年度以降継続して黒字を計上しており、「経常収支比率」と「経費回収率」については他大都市平均と比較して高い水準にあり、安定した経営状況を維持しているといえます。

しかしながら、既存施設の老朽化の進行に伴って維持管理費や改築更新費の増大が想定されるため、下水道使用料の適正な賦課徴収による収入の確保を図るとともに、改築更新時に併せた高効率機器の導入や下水道資源の有効活用等、より一層の経費節減を実施し、経営基盤を強化する必要があります。

今後の事業運営に当たっては、老朽化施設の改築更新や地震対策、浸水対策の推進、脱炭素・循環型社会への対応等事業を推進していくとともに、物価高騰等が経営に及ぼす影響は大きいことから、中長期的な経営環境の変化も見据えながら、引き続き効率的かつ効果的な事業運営に努め、将来にわたり、健全で安定的な経営を持続する必要があります。

5. 補助金の支出状況

(単位：千円)

款別	補助金の名称	交付先	最予算 終額	支出済額	不用額
土木費	道路照明灯補助金（防犯灯）	町内会・自治会等	74,488	74,440	48
	私道整備費補助金	私道の舗装等を行う者	3,000	—	3,000
	狭あい道路路線整備補助金	工作物等の所有者	6,000	—	6,000
	新歩行空間整備補助金	工作物等の所有者	2,000	—	2,000
都市計画費	合併浄化槽設置補助金	助成対象地域で合併処理浄化槽を設置する者	1,328	—	1,328
下水道事業費用	低地排水設備工事費助成金	自然流下では汚水の排除が困難な低地に、ポンプ排水設備の工事を行う者	750	—	750
	私道排水設備工事費助成金	私道に排水施設を設置する為の工事を行う者	235	—	235
	水洗便所改造補助金	くみ取り式便所を水洗便所に改造を行う生活扶助者等	516	—	516
	排水設備分流化改造工事費助成金	排水設備を分流式に改造する者	39,903	29,329	10,574
	雨水流出抑制施設助成金	助成対象地域で雨水流出抑制施設を設置を希望する土地・建物の所有者又は使用者	700	392	308

[注]

- 1 本資料中に用いる金額は、原則として千円単位としており、単位未満を端数処理しているため、合計と合わない場合がある。
- 2 本資料中の記号「－」は、皆無又は該当数値がないものである。